

令和3年 湖西市議会9月定例会

市長あいさつ

令和3年8月31日

皆様、おはようございます。

本日から令和3年9月湖西市議会定例会が開催されるにあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

今日で8月も終わりですが、まだまだ暑い日が続いています。皆様には体調管理のうえ、体調など崩されないようご留意いただきたいと思います。今年の夏は、東京2020オリンピック・パラリンピック。オリンピックにおいては、6月23日に57年ぶりの聖火リレーが、静岡県の出発点として、新居関所をスタートしました。パラリンピックにおいては、浜名特別支援学校と浜名学園の皆さんが、力を合わせて聖火の採火をしてくださいました。その成果もあってか、オリンピックでは日本のメダルが過去最多となる58個を獲得し、8月24日からはパラリンピックが開幕、日本代表選手も連日活躍されています。また湖西市内の小・中・高校生も、夏の全国・東海大会、ジュニアオリンピックなどに40名以上が出場しました。世の中の状況から、各競技ともほぼ無観客なのは残念ですが、選手の皆さんには、自身の目標達成に向け、日頃の練習・鍛錬の成果を、最大限発揮していただきたいと思います。

(新型コロナウイルス対策等)

さて、新型コロナウイルスについては、感染力が非常に強いデルタ株の影響により急激に感染者が増加したことから、静岡県も8月20日から「緊急事態宣言」の対象となっています。

県内ではこれまでにないスピードで感染が拡大しており、市内においても若い世代の方の感染が増え、家庭内や職場における感染が拡大しています。感染拡大に歯止めがかからない場合は、今も不休で市内の医療やワクチン接種を支えていただいている、湖西病院や浜名医師会をはじめとする医療機関の検査・診療、病床のひっ迫により、救える命が救えない危機的な状況になります。

このような状況に歯止めをかけ、大切な命を守るため、皆様におかれましては、手洗いや消毒、マスクの着用などの基本的な感染防止対策に加え、不要・不急の外出自粛など可能な限り人との接触を減らすことを心がけるようお願いいたします。

また、飲食店や公共施設も、時間の短縮や一部利用制限を行っています。市民の皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解をお願いしたいと思います。

昨日8月30日から、小・中学校の2学期が始まりました。極力、全校集会といった集まる機会を減らしたり、検査キットの導入など感染対策の上、子どもたちの学びの機会を適切に確保するとともに、仮に感染が確認された場合には、実態に合わせ学級閉鎖、学年閉鎖や臨時休校など、学校ごとに臨機応変に対応しながら、引き続き基本的な感染防止対策を呼び掛けてまいります。

ワクチン接種につきましては、浜名医師会はじめ関係者の皆様の大変なご尽力により、着実に接種が進んでいます。8月30日現在、対象者のうち、

- ・ 1回目の接種を終えた方が、2万4,509人、約46%、
- ・ 2回目の接種を終えた方が、2万1,546人、約40%、

となっております。今後、9月10日頃までに12歳以上の対象者全員に接種券を発送し、国の示す10月から11月の早い時期までの、希望者概ね2回接種完了に向け、進めてまいります。

また、妊婦の皆様を対象とした優先接種を、9月11日(土)と18日(土)に行います。妊婦の配偶者と同居家族や、湖西市で里帰り出産される方も対象となりますので、できるだけ多くの希望される皆様に接種いただけるよう周知してまいります。

感染防止対策と併せて、コロナ禍における経済的影響の緩和のため、明日から9月30日までの1か月間、市内で、キャッシュレス決済のPayPayを使ってお買い物をされたら30%、最大5,000円分を還元するキャンペーンを実施いたします。感染対策を十分図ったうえ、厳しい状況が続く飲食店をはじめ市内サービス事業者への支援による地域経済活性化のため、ぜひご利用いただければと思います。

(熱海市災害派遣)

さて、7月3日に発生した熱海市の土砂災害は、発生から2か月が過ぎようとしています。被災された方々に心からお見舞いを申し上げ、早期の復旧をお祈りいたします。湖西市としても、これまでに消防職員141名、保健師2名、行政職員2名を派遣し、それぞれ行方不明者の捜索・救助活動、避難所等における健康管理や精神的なケア、住宅被害の認定作業等の支援をさせていただきました。9月には土木技術職員も応援派遣する予定であり、この貴重な経験を、今後万一、本市で災害が起こった時のため、活かしていただきたいと思います。

湖西市内におきましては、8月18日の未明、大雨による土砂災害警戒情

報が発表され、市内の土砂災害警戒区域に対し「避難指示」を発令いたしました。複数の避難場所に6名の市民の方が避難し、また小規模の倒木や土砂の流出などがありましたが、幸い人的被害は確認されませんでした。

今回は、各自主防災会に対し、避難場所の開設を未明にお願いしたにも関わらず、迅速にご対応いただきました。この場を借りて、改めてお礼を申し上げます。これから台風シーズンを迎え、全国各地で発生している災害を教訓とし、引き続き警戒し対応してまいりたいと考えております。

（モノづくり産業ネットワーク、ゼロカーボンシティ）

さて、7月21日には湖西市版「ゼロカーボンシティ」宣言をいたしました。これは今年度から市として「モノづくり推進室」を創設し取り組んでいる「モノづくり人材育成・産業ネットワーク」と合わせ、持続可能な発展のための、中長期的な取組となります。

ゼロカーボンシティの取組については、4つの柱を掲げさせていただきました。湖西市の豊かな自然と、安心して住み続けられる環境を次世代に継承していくことはもちろん、4つのうち2つ目の柱である「モノづくり産業の持続可能な発展に向けた産業支援」により、再生可能エネルギー導入支援などを通じ、環境と経済の好循環による持続可能なまちづくりと『職住近接』を実現すべく、市民・産業界・行政などが連携して2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとする、湖西市版の「ゼロカーボンシティ」を目指してまいります。

今回の9月定例会においては、ゼロカーボンシティの実現に向けた実行計画策定の調査費を、補正予算として計上させていただいておりますので、よろしく願いいたします。

（土地の利活用推進へのランドデザイン）

『職住近接』へのもう一つの中長期的な取組の柱である、市内の土地利用推進について、今春、立地適正化計画を策定した際に申し上げたとおり、制度設計のため、市内で宅地開発実績のある事業者などと意見交換を重ねてきました。居住誘導区域内の未利用地等において住宅用地の開発を促進するための、2つのインセンティブを創設いたします。一つは、土地を提供される方、いわゆる地主さんへの奨励金制度。もう一つは、宅地の開発を行う事業者への補助制度となります。JRの駅周辺など利便性の高い場所を、現状の畑や山から宅地へとすることで、市内で働くことに加え、

住んでいただく、『職住近接』による持続可能なまちづくりに繋げていきたいと考えています。こちらも今回、補正予算を計上させていただきます。

さらに今後は、いわゆる市街化区域に続いて、浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）のインターチェンジや浜名湖西岸土地区画整理地区の周辺といった、いわゆる市街化調整区域における、宅地、商業施設、工業用地の確保などの土地利活用の一体的推進についても、県や国と連携して行っていくよう、新たな全体像のグランドデザインを策定し進める体制を、強化してまいります。

（DXの推進）

DX（デジタル・トランスフォーメーション）につきましては、現在、「湖西市DX推進計画」策定に向けて準備を進めています。明日9月1日から1か月間パブリックコメントを実施し、10月に策定する予定です。具体的には公共施設のオンライン予約や水道スマートメーター、道路の異常のオンライン通報など、個別の事業に沿って、市民の皆さんが便利さを実感できる行政サービスを、一つひとつ進めてまいります。既に、4月から始めた市税におけるキャッシュレス化に加え、8月から市民課窓口などにおいて、証明書手数料のキャッシュレス化、多言語動画通訳サービスも開始しました。10月には、デジタルデバйд対策として、新設した企業版未来のこさい調査事業の中で、主に高齢者を対象としたスマホ講座の実施を予定しています。幅広い分野における地域課題の解決や市民サービスの向上を図るため、デジタル・スマートシティの実現を継続して進めてまいります。

（新居弁天地域を拠点とする観光振興）

観光振興においては、新居弁天地域の再開発事業について、7月下旬にサウンディング型市場調査を行い、複数の事業者から、利活用方法、事業方式の提案をいただきました。この地域ならではの観光資源を活かし、年間を通じてにぎわいのある『浜名湖・湖西市の観光拠点』を作り上げるとともに、地域の皆様の憩いの場として長く愛される地域づくりも同時に進めていきたいと考えています。新型コロナの状況次第ではあるものの、9月に予定している意見交換会などで、地元の方々のご意見もいただきながら、整備方針・事業方式などをさらに整理し、年度内の事業者選定に向け進めてまいります。

(むすび)

さて、令和4年(2022年)1月1日に迎える、市制50周年に向けての準備は、プロジェクトチームや関係団体、市民の皆様からのご意見などを参考に、特別事業などが固まってきました。現在、各事業の実施に向けて、個別に関係者と調整を進めているところです。実施計画については、10月頃には発表を予定しています。その頃には2回目のワクチン接種にも目途がつき、コロナ禍を乗り越え、市民の皆さんの思い出に残り、継続したいと思えるような、また、湖西市がさらに元気になり、未来に繋がるような魅力あるイベントや取組を実施し、短期的なもののみならず、中長期的な『職住近接』に繋げるよう進めてまいります。

本定例会に提案させていただく案件は、先ほど申し上げた、ゼロカーボンシティ関連補正予算をはじめ、合計15件でございます。後ほど提案理由をご説明させていただきますので、建設的かつ前向きなご議論、ご審議をお願いし、私のあいさつとさせていただきます。

ありがとうございました。

(以 上)